

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		雪寒対策道路事業		路河川名等		(国)158号	
事業毎の通番		1		市町村名		松本市	
事業目的		平成26年2月14～15日にかけての豪雪及び、27日の降雨を起因とする雪崩が(国)158号沿線で7箇所(1)雲間の滝から(2)鵬雲崎(1)から(3)日向窪(4)鵬雲崎(2)まで)の雪崩が発生している。このうち、小雪箱トンネル下では高山～新宿間の高速バスが雪崩に巻き込まれた他、約25時間にわたり通行止めとなり、観光、物流、地域生活へ多大な影響を与えた。よって、雪崩発生予防施設を整備し、冬期間の安全、確実な交通の確保を図りたい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		道路法 積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		現況交通量: 8,459台/日(H22センサス) 乗鞍高原観光利用者数: 516千人(H25年)					
着手年度		平成27年度		事業期間		5年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		5年間	
全体事業内容(主な工種)		雪崩予防柵設置 5箇所		事業費(千円)		国庫 69,690 其他 県債 一般財源 45,310	
年度事業内容(主な工種)		測量設計、用地測量、保安林に係る手続き 本工事		20,000		12,120	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 奈川渡ダム上流側は代替路線が無く、発災時には長期の交通途絶により地域住民に多大な影響を与える。 冬期間の安全で確実な交通の確保 間接的効果(定量的・定性的) 冬期間の観光(乗鞍スキー場等)のイメージ悪化を防止					
必要性		○現況交通量: 8,459台/日(H22センサス) ○代替路線なし ○旧安曇村、旧奈川村 居住人口: 2523人(H26.5.1時点)				評価 A	
重要性		○緊急輸送路(1次) ○高速バス路線 ○豪雪地帯、過疎地帯				評価 B	
効率性		○事業期間: 5年				評価 C	
緊急性		○H26年2月の雪崩発生により、高速バス(新宿～高山市)が罹災 ○H26年2月の雪崩発生により、約25時間にわたり交通が途絶				評価 C	
計画熟度		○「国道158号改良を促進する沿線住民の会」等により、安全な交通の確保が要望されている ○地権者からの反対意見なし				評価 C	
部意見		岐阜県と長野県を結ぶ重要な路線であり、雪崩による被害も発生している。1次緊急輸送路にも指定されている道路であるため、整備が必要である。		行政改革課意見		H26.2に雪崩が発生し通行止めとなり、観光、物流、地域生活に多大な影響を与えたことから、必要性が高い。 評価結果 ○ 総合評価 B	

位置図

1	雲間の滝(1)
2	雲間の滝(2)
3	日向窪
4	鵬雲崎(1)
5	鵬雲崎(2)

雪崩発生状況

事業概要説明図表

①事業実施に至る 歴史的経緯・社会的背景	(国)158号は松本市と福井市を結ぶ唯一の幹線道路であるとともに、沿線住民にとって、唯一の生活路線であり、重要な役割を果たしているが、当該区間は幅員が狭く、急カーブも多いなど、円滑な通行に支障をきたしており、また落石や雪崩により通行不能が度々発生し、沿線住民の生活や観光へ多大な影響を与えている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	その重要性に反し、道路の安全性、速達性、快適性等の機能が著しく劣る区間であり、全国14000kmの高規格幹線道路網計画の一部である中部縦貫自動車道の計画区間であるが、現在のところ具体的な整備計画が示されていないことから、現道の安全確保が必要。
③事業説明等の経緯	地元市へ事業計画を説明。事業地の大部分が国有林となるため、林野庁中部森林管理局へ計画を説明済み。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	保安林内の工事となるため、水源涵養、土砂流失防備の機能を損わない工法を選択。
⑥地域活性化への影響と配慮	当該路線は、上高地、乗鞍高原といった著名観光地へのアクセス道路であるため、自然災害による通行止めを防止することにより、観光産業の安定に寄与する。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 36° 08' 07"
	東経: E 137° 44' 18"